
旧約
エレミヤ
聖徒伝 268
災いの日の
希望の約束
エレミヤ書51章　諸国民の裁き⑤　バビロンへの裁き②
Shikaoichurch.com

試練や苦難、わざわいの中で、
力を得るには？　希望を持つには？

災いの日の希望の約束

❶バビロンのわざわいの日

51:1～26

❷バビロンと諸国の滅び

51:27～58

❸わざわいの日の希望

51:59～64

聖書引用　新改訳2017 ©2017 新日本聖書刊行会　許諾番号4-1062-2



バビロン・イシュタル門



0.　イントロダクション

■イスラエルは、多くの預言者の警告も拒み、背きを重ねた。

■北王国は、BC722年、アッシリアよって滅亡。
南王国は、バビロニアによって滅ぼされた。
（バビロン捕囚・BC586）



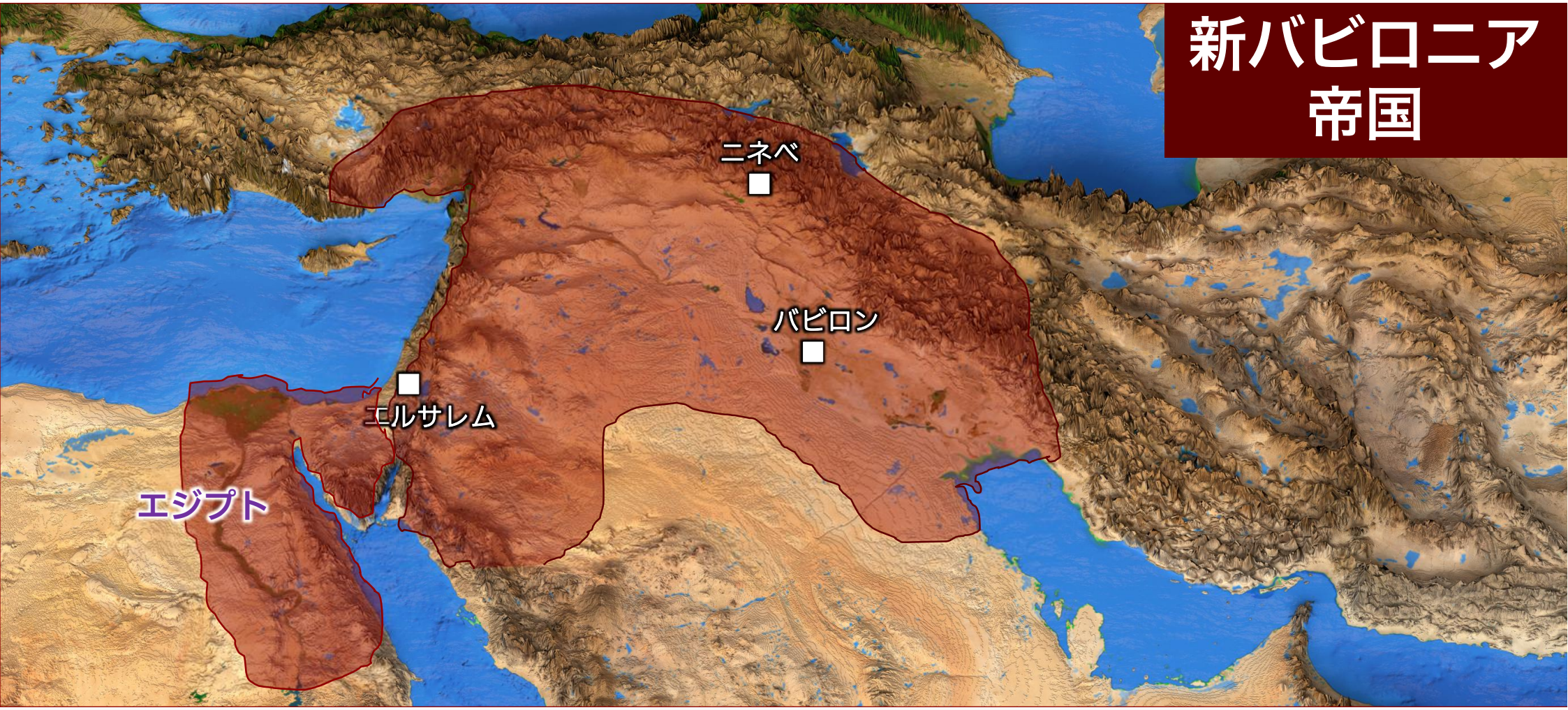
バビロンの浮彫

前説　50〜51章　諸国民の裁きの基準

■**裁きの理由は、**①イスラエルを苦しめたこと
②彼ら自身の偶像礼拝
…唯一の神を知ったにも関わらず

■**裁きの基準は、**①イスラエルをどれだけ苦しめたか
②イスラエルとの関係の近さ

最後に、イスラエルと周辺諸国を滅ぼした、
バビロニアの滅びが2章に渡って告げられる



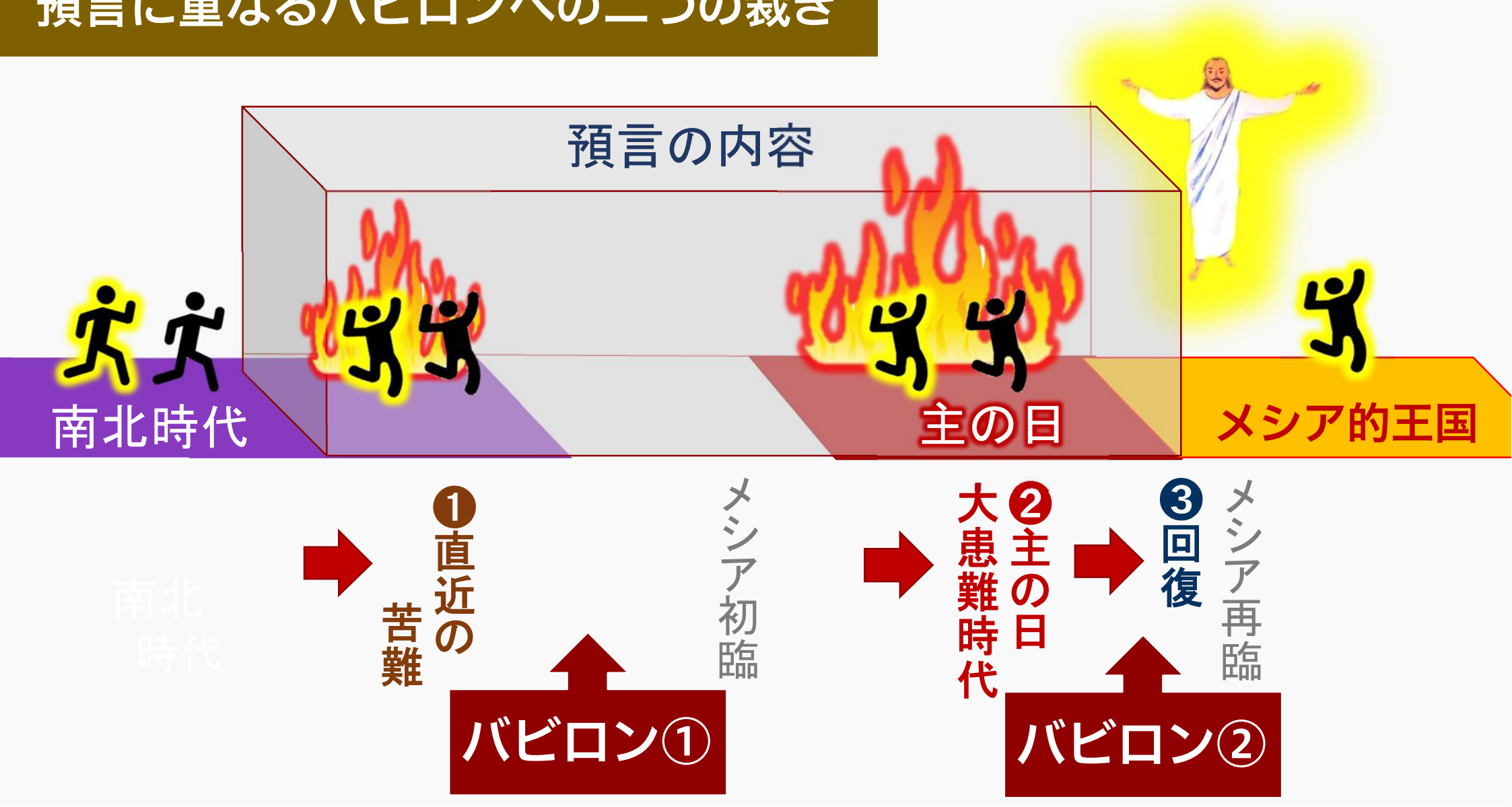
二代目のネブカドネツァル王は、エジプトまで勢力を拡大。
BC539、ペルシアのキュロス王がバビロン陥落、86年間で消失。

預言に重なるバビロンへの二つの裁き



シームレスでフラクタル
（つなぎ目がなく、相似形）

預言に重なるバビロンへの二つの裁き



天上の礼拝

大患難時代(艱難期)



教会時代

御国の時代

14万4千人による世界宣教

ユダヤ人大迫害

携挙

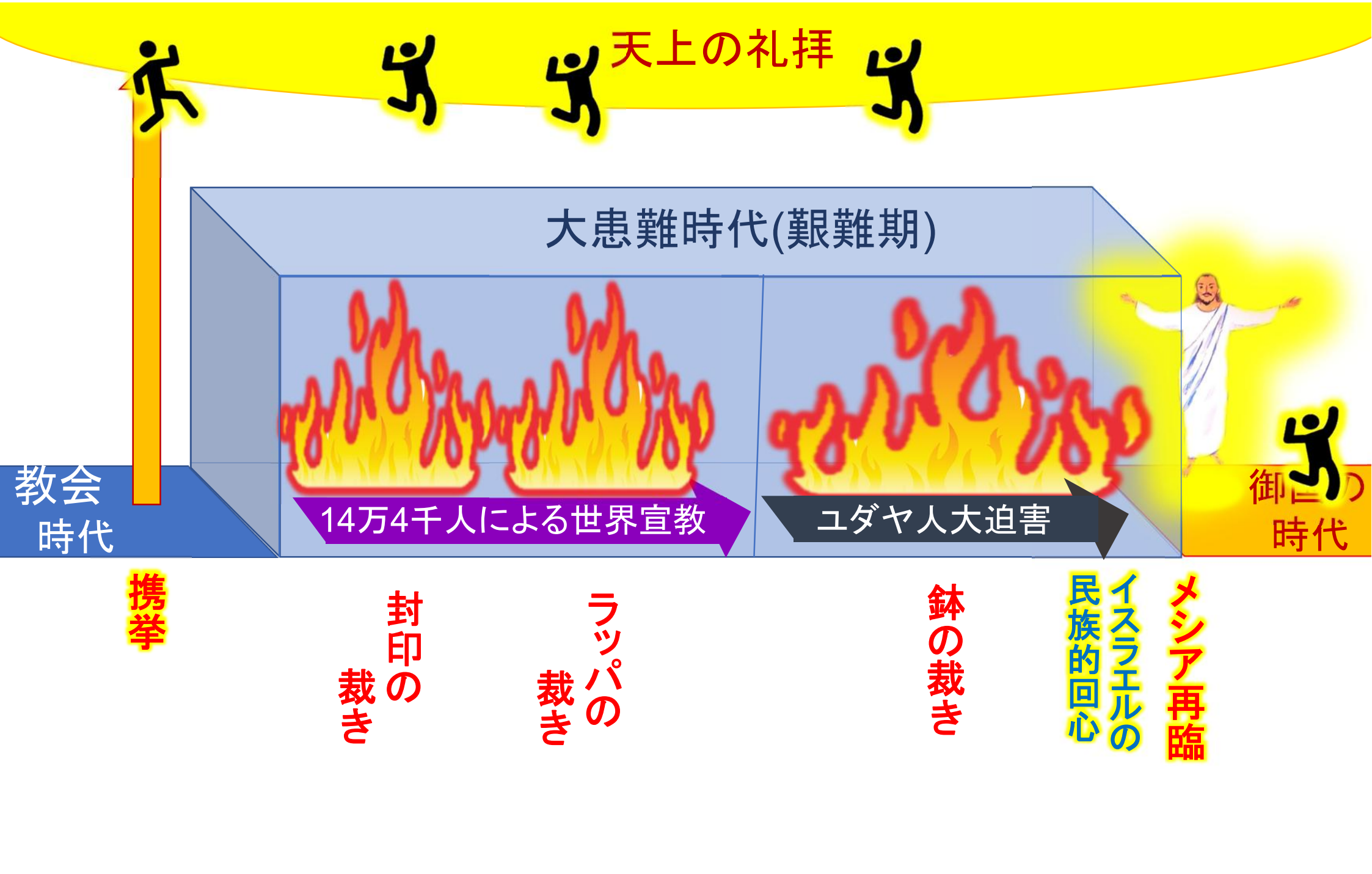
封印の裁き

ラッパの裁き

鉢の裁き

イスラエルの民族的回心

メシア再臨


天上の礼拝
大患難時代(艱難期)
教会
時代
14万4千人による世界宣教
ユダヤ人大迫害
御国の
時代
携挙
封印の
裁き
ラッパの
裁き
鉢の裁き
イスラエルの
民族的回心
メシア再臨

50～51章　「バビロンへの裁き」の特徴

- 2章110節にも渡る、**バビロンへの哀歌。**
  - ➡詩的表現が多用。あくまで詩歌として味わう。

- 第一に、**イスラエルへの励まし。**
  - ➡特に、バビロンにいる捕囚の民に向けて。
    究極的は、艱難期の大バビロンの迫害に苦しむ民へ。

- 公正な裁きを下し、約束の民を守られる、**主への賛美。**

「バビロンへの哀歌」「主への賛美」として味わおう!!



❶バビロンのわざわいの日　エレミヤ書51章1～26節

再現されたバビロン

❶災いの日　わざわいの日　51:1～2

【主】はこう言われる。「見よ。わたしはバビロンに対し、レブ・カマイ*の住民に対して、滅ぼす者の霊を奮い立たせ、 他国人たちをバビロンに送る*。彼らはこれを吹き散らし、その地を滅ぼす。彼らは、わざわいの日に、四方からこれを攻める。」

＊バビロニアの地名、どこかは不明。

＊バビロンを滅ぼす者、ペルシアの霊。


再現されたバビロン

❶災いの日　聖絶　エレミヤ51:3～4

射手には弓を引かせるな。よろいを着けて立ち上がらせるな*。そこの若い男たちを惜しむな。その全軍を**聖絶***せよ。

刺し殺された者たちが、カルデア人の地に、突き刺された者たちが、その通りに倒れる。

＊バビロン陥落は、ペルシアの不意打ち。

＊聖絶の命令は、

　カナン、アマレク、バビロンのみ



復元されたバビロン

❶災いの日　イスラエルの守り　51:5～6

しかし、イスラエルもユダも、その神、万軍の【主】に見捨てられることはない。彼らはイスラエルの聖なる方から離れ、彼らの地は罪過で満ちていたが。

バビロンの中から逃げ、それぞれ自分自身を救え。バビロンの咎のために絶ち滅ぼされるな。これは、【主】の復讐の時、主がこれに報いをなさるからだ。

■約束のゆえに守られるイスラエル。

巻き込まれないよう逃れよと命じられる。



バビロニアの遺跡

❶災いの日　神の怒りの杯　51:7～8

バビロンは【主】の手にある金の杯*。すべての国々はこれに酔い、国々はそのぶどう酒を飲む。それゆえ、国々は正気を失う。

バビロンは、たちまち倒れて砕かれる。バビロンのために泣き叫べ。その痛みのために乳香を取れ。もしかしたら、癒やされるかもしれない。

＊神の怒りの裁きの杯

バビロンと共にある者も裁きに呑まれる。

➡究極が艱難期の大バビロンの滅び


バビロンの遺跡

❶災いの日　帰還民の声　51:9～10

私たちはバビロンを癒やそうとした*。だが、それは癒やされなかった。私たちはこれを見捨てて、それぞれ自分の土地へ帰ろう。バビロンへのさばきが、天に達し、大空まで上ったからだ。

【主】は私たちの義を明らかにされた。さあ、私たちはシオンで、私たちの神、【主】のみわざを語ろう。

＊エレミヤの警告の預言は70年以上前に!!

■裁きを知らされながら悔い改めず!!


バビロンの遺跡

❶災いの日　主の復讐　51:11～12

矢を研ぎ、小盾を取れ。【主】はメディア人の王たちの霊*を奮い立たせられる。御思いは、バビロンを滅ぼすこと。それは**【主】の復讐**、ご自分の神殿の復讐だからである。

バビロンの城壁に向かって旗を掲げよ。見張りを強くし、番兵を立て、伏兵を備えよ。【主】は計画を練って、バビロンの住民について語ったことを実行されるからだ。

＊ペルシアと連合してバビロンを滅ぼした。


バビロンの遺跡

❶災いの日　バビロンの最期　51:13～14

大水のほとりに住む、財宝に富む者よ*。おまえの最期、おまえの寿命が尽きる時が来た。

万軍の【主】はご自分にかけて誓われた。
「わたしは必ず、バッタの大群のような人々でおまえを満たす。彼らはおまえに対して叫び声をあげる。」

＊ユーフラテス川沿い、四方を掘りに囲まれ、
繁栄を極めたバビロンだったが…。


バビロンとユーフラテス川

❶ 主の御力　51:15～16

主は、御力をもって地を造り、知恵をもって世界を堅く据え、英知をもって天を張られた。

主の御声に、天では水のざわめきが起こる。主は地の果てから雲を上らせ、雨のために稲妻を造り、ご自分の倉から風を出される。

■全地を治める天地の造り主が賛美される。

➡誰もが自然を通して創造主を知れる

すべての人に与えられたのが自然啓示



ユーフラテス川上流

❶災いの日　空しい偶像　51:17

すべての人間は愚かで無知だ。すべての金細工人は、 彫像のために恥を見る。その鋳た像は偽り、その中には息がない。

それは空しいもの、物笑いの種だ。刑罰の時に、それらは滅びる。

ヤコブの受ける分は、このようなものではない。主は万物を造る方。イスラエルは主のゆずりの民。その御名は万軍での【主】。

■創造主の対極が、人の造った空しい偶像。

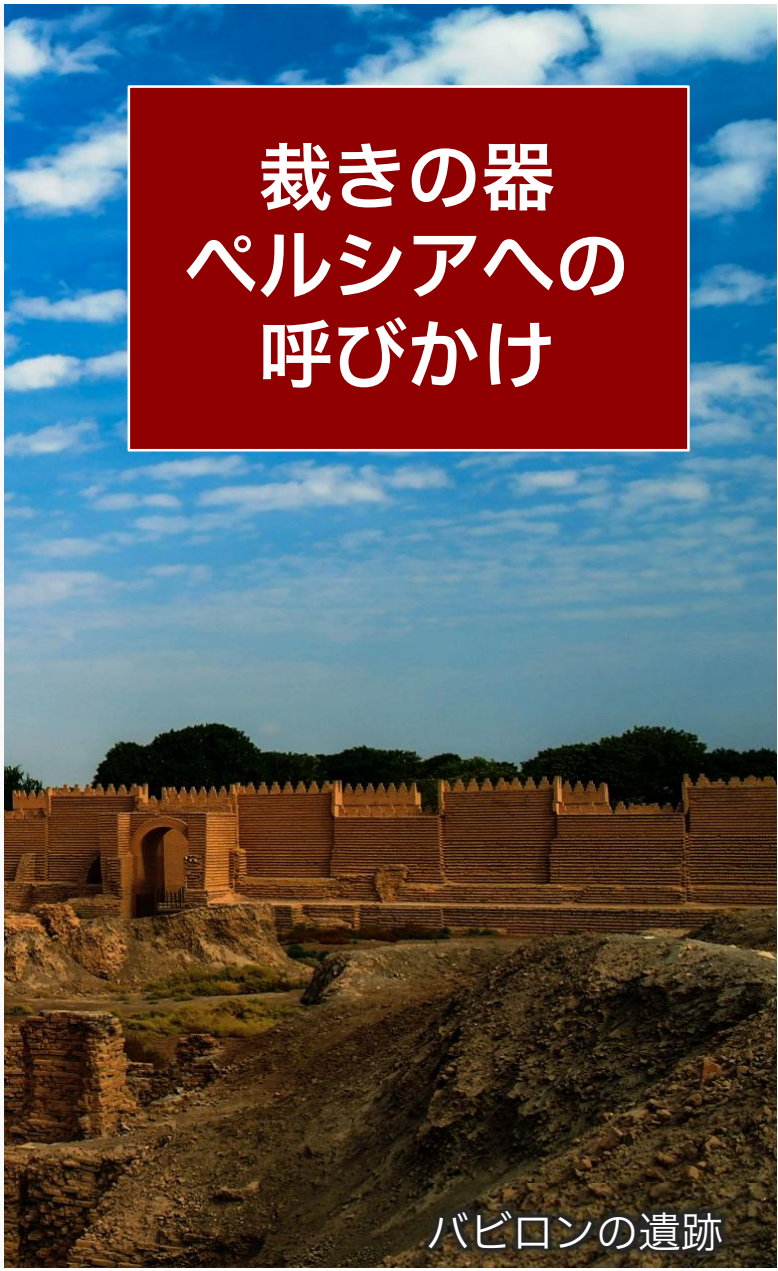


❶災いの日　主の鉄槌　51:20～23

「あなた*はわたしの鉄槌、戦いの道具だ。
わたしはあなたによって国々を砕き、あなたによって諸王国を滅ぼす。

あなたによって馬も騎手も砕き、あなたによって戦車も御者も砕き、あなたによって男も女も砕き、あなたによって年寄りも幼い者も砕き、あなたによって若い男も若い女も砕き、あなたによって牧者も群れも砕き、あなたによって農夫もくびきを負う牛も砕き、あなたによって総督や長官たちも砕く。

＊ペルシア。究極的には再臨のメシア



バビロンの遺跡

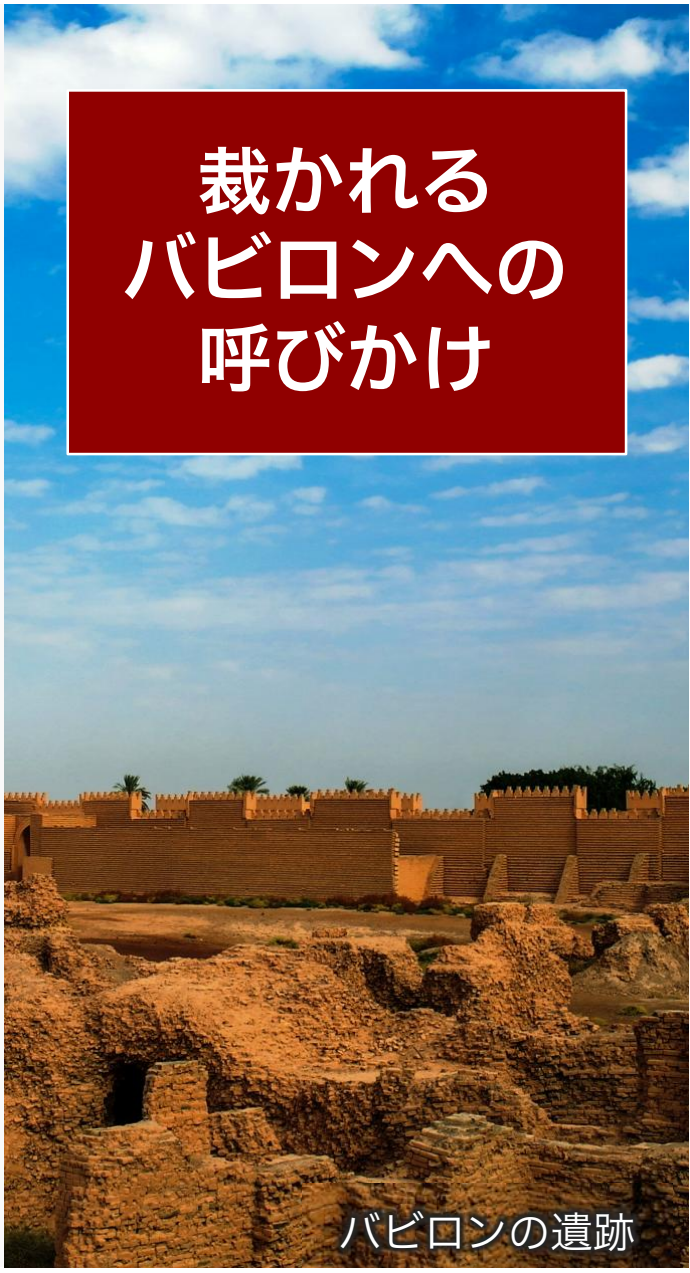
❶災いの日　主の報復　1:24～26

わたしはバビロンとカルデアの全住民に対し、彼らがシオンで行ったすべての悪に、あなたがたの目の前で報復する。―【主】のことば―

全地を破壊する、破壊の山よ。見よ、わたしはおまえを敵とする。―【主】のことば―
わたしはおまえに手を伸ばし、おまえを岩から突き落とし、おまえを焼けた山とする。

だれもおまえから石を取って、要の石とする者はなく、礎の石とする者もない。おまえは永遠に荒れ果てた地となる。―【主】のことば」

■主の裁きは、完全で永遠。



バビロンの遺跡



❷バビロンと諸国の滅び

エレミヤ書51章27～58節

再現されたバビロン

❷滅び　北方の侵略者　51:27

この地に旗を掲げ、国々の中で角笛を鳴らせ。バビロンに向けて国々を聖別せよ。バビロンに向けて王国を召集せよ。アララテ、ミンニ、アシュケナズ*を。バビロンに向けて司令官を立て、群がるバッタのように、馬を上らせよ。

＊バビロニアの北方の国々

➡ペルシアに便乗してバビロンを侵略


バビロンの遺跡

❷滅び　主による聖別　51:28～29

バビロンを攻めるため国々を聖別せよ*。メディアの王たち、その総督やすべての長官たち、その支配にある全土の民を。

地は震え、もだえる。【主】はご計画をバビロンに成し遂げ、バビロンの地を住む者もいない荒れ果てた地とされる。

＊主の裁きの器として聖別される


バビロンの遺跡

❷滅び　敗北を告げる使者　51:30～32

バビロンの勇士たちは戦いをやめ、砦の中に座り込む。彼らの力は干からびて、女たちのようになる。その住まいは焼かれ、かんぬきは砕かれる。

飛脚はほかの飛脚に走り次ぎ、使者もほかの使者に取り次いで、バビロンの王に告げて言う。「都は、くまなく攻め取られ、渡し場も取られ、湿地も火で焼かれ、戦士たちはおじ惑っています」と。

■なすすべなく陥落していくバビロニアの町々。


バビロンの遺跡

❷滅び　刈り入れの時　51:33～34

イスラエルの神、万軍の【主】が、こう言われるからだ。「娘バビロンは、踏まれるときの打ち場のようだ。もうしばらくで、刈り入れの時が来る。

『バビロンの王ネブカドネツァルは、私*を食い尽くし、私をかき乱して、空の器にした。竜のように私を呑み込み、私という美味で腹を満たし、私を洗い流した。』

＊バビロンに滅ぼされたイスラエル

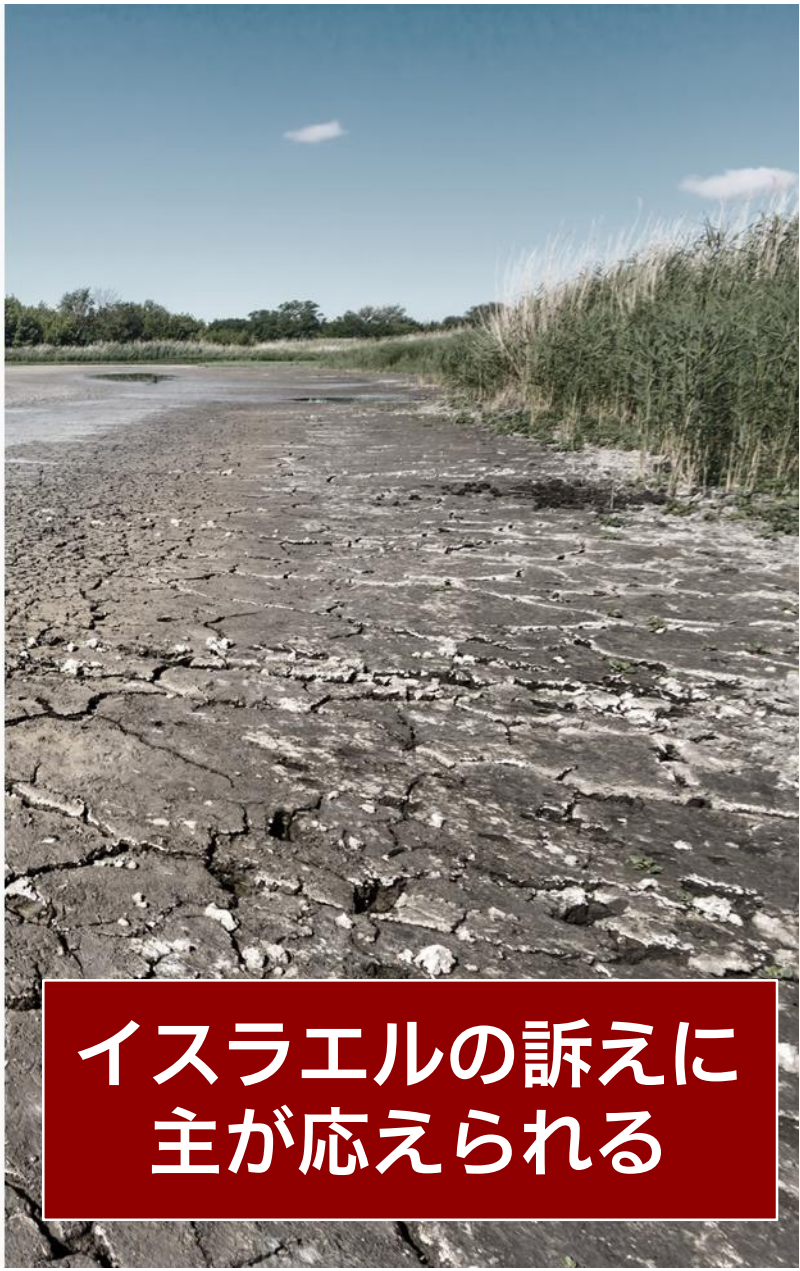


❷滅び　イスラエルの訴え 51:35～36

シオンに住む者は言え。『私と私の肉親になされた暴虐が、バビロンに降りかかれ』と。エルサレムは言え。『私の血がカルデアの住民に注がれよ』と。」

それゆえ、【主】はこう言われる。「見よ。わたしはあなたの訴えを取り上げ、あなたのために報復する。バビロンの海を干上がらせ、その泉を涸らす*。

＊ペルシアは、掘りを干上がらせて侵入。
　失われる富、権力、栄華をも象徴。



❷滅び　永遠の眠り　51:37～39

バビロンは石くれの山、ジャッカルの住みかとなり、恐怖のもと、また嘲りの的となって、住む者はいなくなる。

彼らはともに、若獅子のように吼え、獅子の子のようにうなる。

彼らが苛立っているとき、わたしは彼らに宴会を開き、彼らを酔わせる*。彼らは陽気になり、永遠の眠りについて、目覚めることはない。――【主】のことば――

＊宴会中に襲撃された


ジャッカル

❷滅び　屠り場　51:40～42

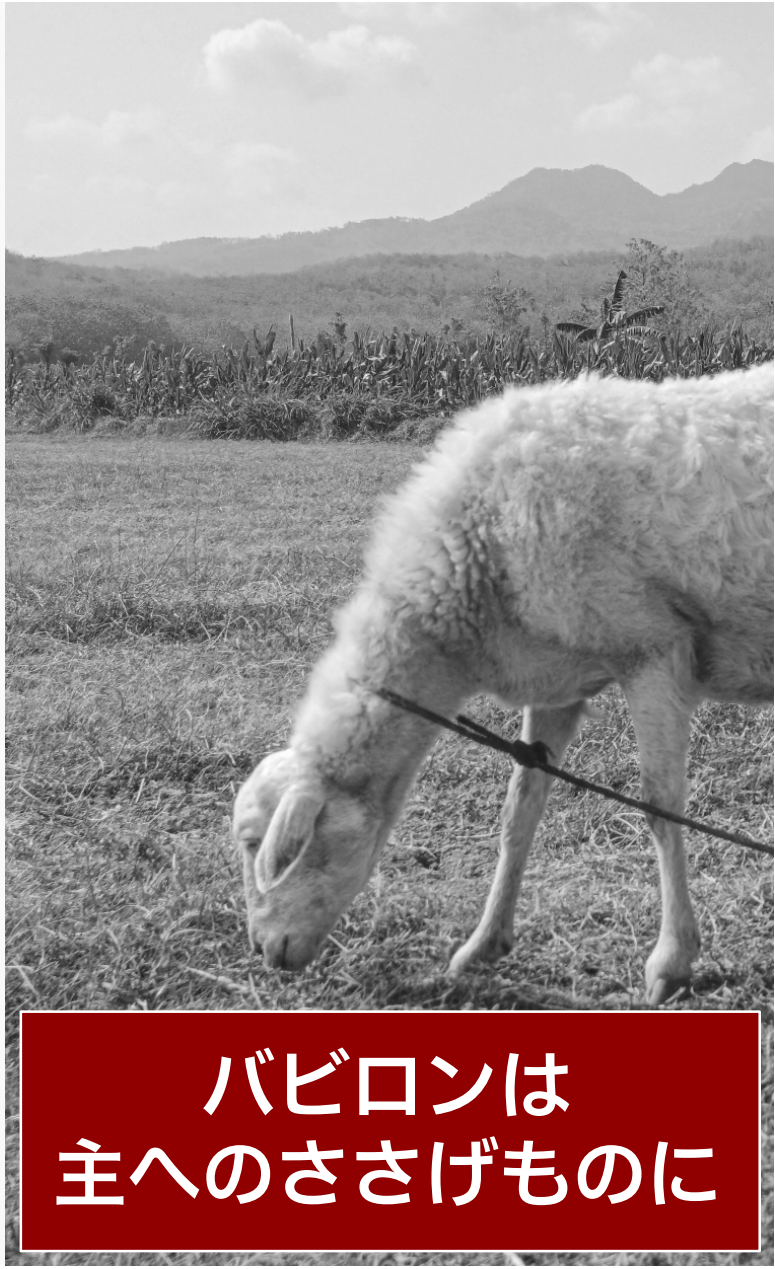
わたしは彼らを、子羊のように、また雄羊か雄やぎのように、屠り場に下らせる*。

ああ、バビロンは攻め取られ、全地の誉れであった者は捕らえられた。ああ、バビロンは国々の間で恐怖のもととなった。

海*がバビロンの上にのしかかり、波のざわめきにおおわれた。

＊聖絶＝全焼のささげもの。

＊神の裁きの象徴



❷滅び　バビロンの倒壊　51:43～44

その町々は荒れ果てた地となり、その地は砂漠と荒れ地となり、だれも住まず、人の子が通りもしないところとなる。

わたしはバビロンでベルを罰し、これが呑み込んだ物を吐き出させる*。国々はもう、そこに流れ込むことはない。バビロンの城壁さえも倒れてしまった。

＊屠られた動物の血を抜き、きよめる様子。

■国々を呑み込み、繁栄したバビロンだが、貯め込んだ財もすべて失うことに。


バビロンの遺跡

❷滅び　暴虐から逃れよ　51:45～46

わたしの民*よ、その中から出よ。【主】の燃える怒りから逃れ、それぞれ自分自身を救え。

そうでないと、あなたがたの心は弱まり、この地に聞こえるうわさを恐れることになる。今年、うわさが立ち、その後、次の年にも、うわさは立つ。この地には暴虐があり、支配者はほかの支配者に立ち向かう。

＊イスラエルの民は、バビロンから逃れよと。

■うわさを聞くだけで震え上がる破滅が!!


バビロンの遺跡

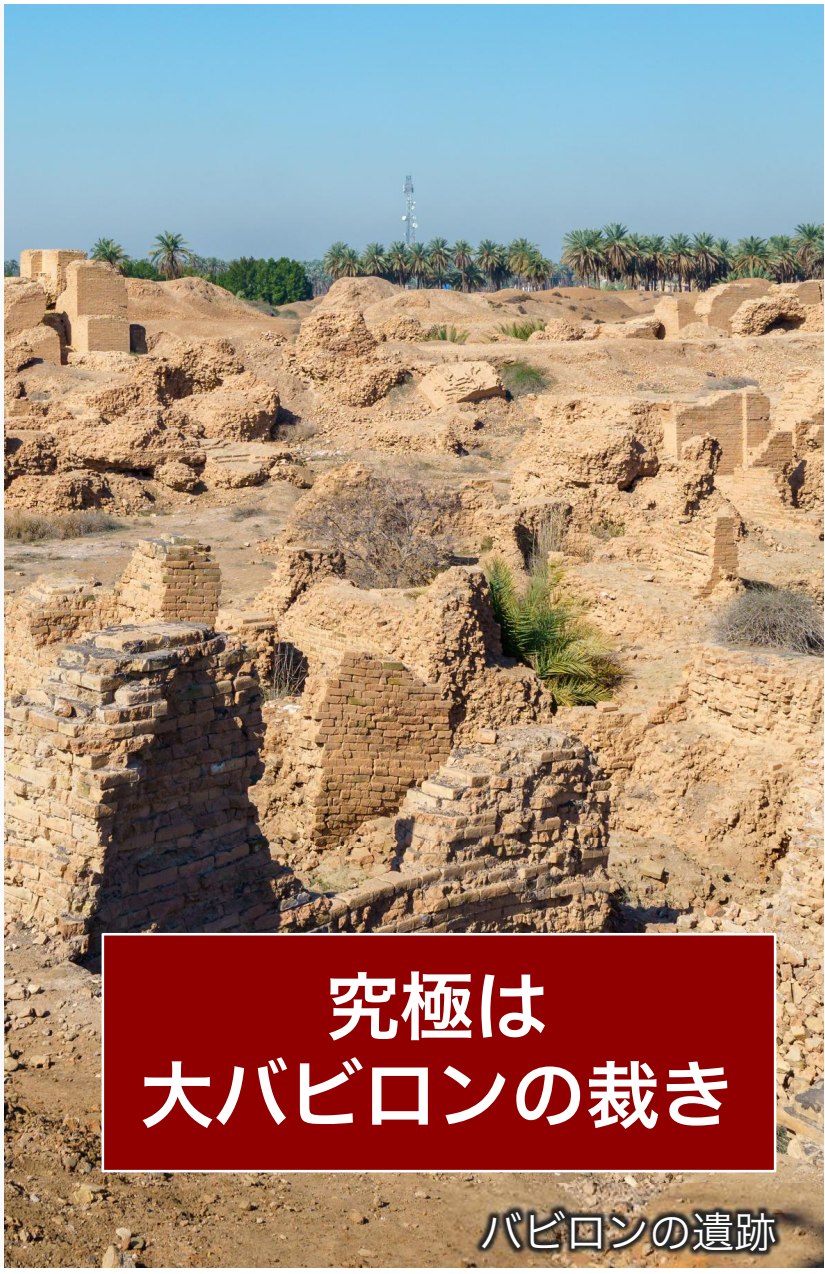
❷滅び　裁かれる偶像　51:47～48

それゆえ、見よ、その時代*が来る。そのとき、わたしはバビロンの彫像*を罰する。この全土は恥を見、刺し殺された者はみなそのただ中に倒れる。

天と地とその中にあるすべてのものは、バビロンのことで喜び歌う。北からこれに向かって、荒らす者たちが来るからだ――【主】のことば――。

＊究極的裁きは、艱難期の最後に。

＊バビロンでも多くの偶像が祭られていた。



バビロンの遺跡

❷滅び　剣を逃れた者よ　51:49～50

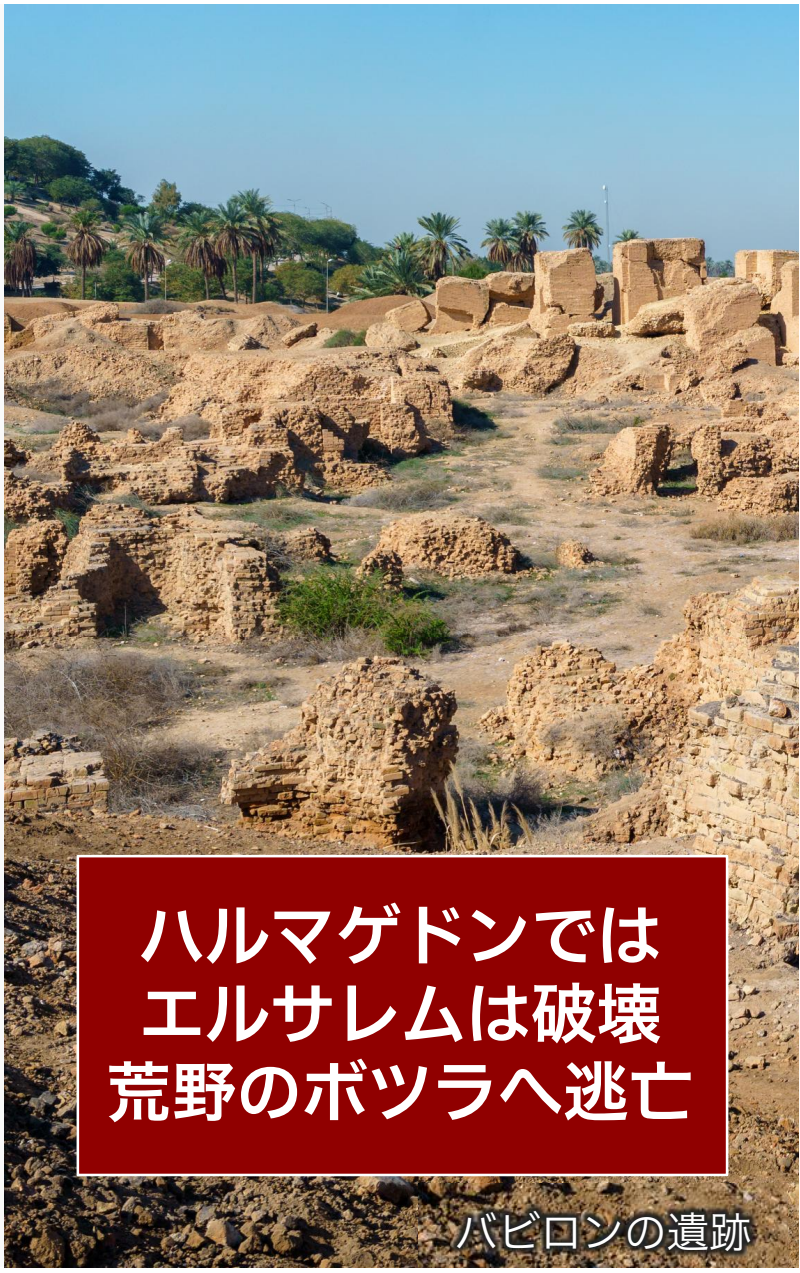
イスラエルの刺し殺された者たちよ*、バビロンは必ず倒れる。バビロンによって全地の刺し殺された者たちが倒れたように。

剣を逃れた者よ、行け。立ち止まるな。遠くから【主】を思い出せ。エルサレムを心に思い浮かべよ。

＊バビロン捕囚で殺された者たち

➡艱難期に迫害で殺された者たちも

■イスラエルを苦しめたバビロンへ、
その暴虐への神の報いが厳しく下る。



バビロンの遺跡

❷滅び　拭われる恥辱　51:51

『私たちは、そしりを聞いて、恥を見た。
恥辱が私たちの顔をおおった。他国人が
【主】の宮の聖所に入った*からだ。』

それゆえ、見よ、その時代が来る。――
【主】のことば――そのとき、わたしはその彫像を罰する。刺された者がその全土でうめく。

＊第二神殿は、略奪され、破壊。
　第三神殿は、反キリストが汚す。

■バビロンも大バビロンも罰せられる。



エルサレムの城壁

❷滅び　逃れ場はない　51:53~〜54

たとえバビロンが天に上っても、たとえ、砦を高くして近寄りがたくしても、わたしのもとから荒らす者たちがそこへ行く。――【主】のことば。」

バビロンから、叫ぶ声がする。カルデア人の地から、大いなる破滅の音が。

■主の裁きから逃れる先はどこにもない。

➡空中の支配者・サタンであっても!!

艱難期の最後、反キリストが裁かれる



ジグラッドの階段

❷滅び　報復の神　51:55～56

【主】がバビロンを荒らして、そこから大いなる声を絶やされるからだ。その波は大水のように鳴りとどろき、その声は鳴りどよめく。

まことに、荒らす者*がバビロンを攻めに来て、その勇士たちは捕らえられ、その弓も折られる。【主】は報復の神であり、必ず報復されるからだ。

＊ペルシア。究極は再臨のメシアか。

■神の敵対者には、罪に応じた報復が下る。


バビロニアの遺跡

❷滅び　万軍の主の御告げ　51:57～58

「わたしは、その首長たちや知恵のある者、総督や長官、勇士たちを酔わせる。彼らは永遠の眠りについて、目覚めることはない―その名を万軍の【主】という王のことば」

万軍の【主】はこう言われる。「バビロンの厚い城壁は完全にくつがえされ、その高い門にも火が放たれる。国々の民は無駄に労し、諸国の民は、ただ火に焼かれて、力尽きる」

バビロンの滅びは、
すべての異邦人諸国の滅びを象徴


バビロン遺跡



❸わざわいの日の希望

エレミヤ書51章59～64節

ユーフラテス川

❸希望　託された書物　51:59～60

マフセヤの子ネリヤの子セラヤが、ユダの王ゼデキヤとともに、その治世の第四年にバビロンへ行ったとき、預言者エレミヤがセラヤに命じたことば。そのとき、セラヤは宿営の長であった。

エレミヤはバビロンに下るすべてのわざわい、すなわち、バビロンについて記された、これらすべてのことばを**一つの書物**に記した。

■傀儡の王ゼデキヤは、バビロン王に謁見。
　捕囚民の長セラヤに、50～51章を託した。

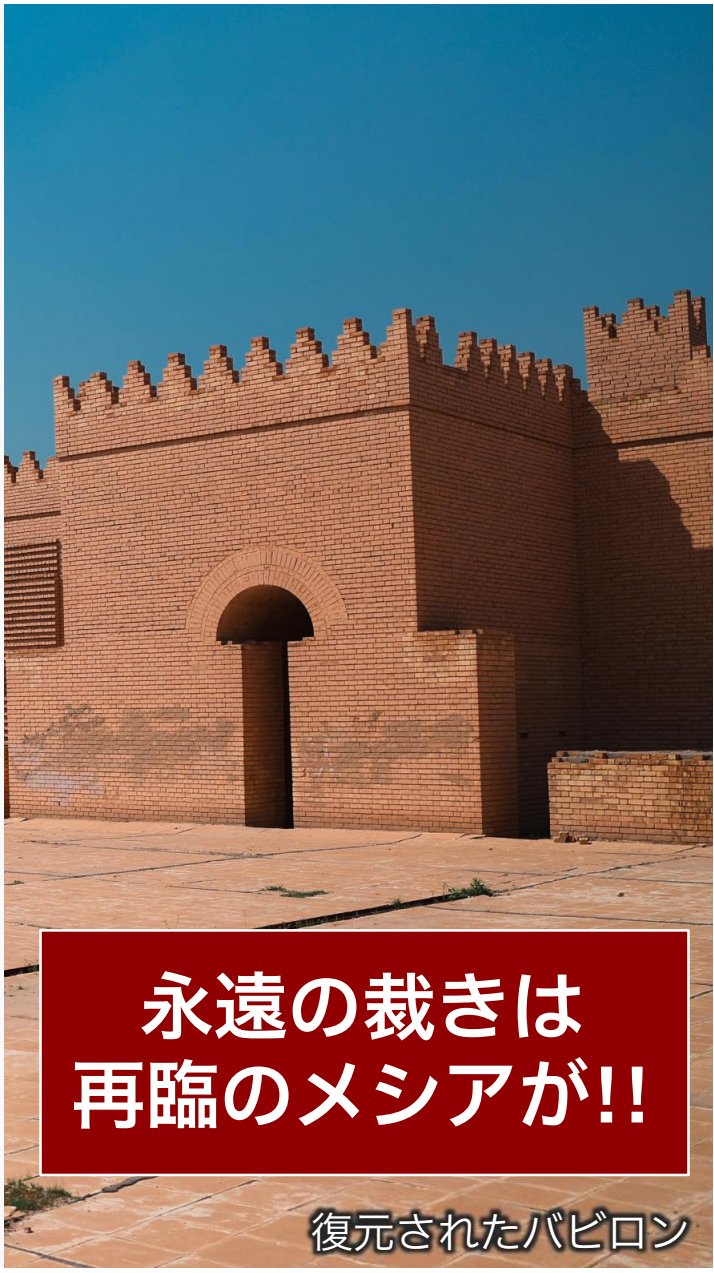

バビロンの復元図

❸希望　セラヤの任務　51:61～62

エレミヤはセラヤに言った。「あなたがバビロンに入ったときに、これらすべてのことばをよく注意して読み、こう言いなさい。
『【主】よ。あなたはこの場所について、これを滅ぼし、人から家畜に至るまで住むものがないようにし、永遠に荒れ果てた地とする*、と語られました。』

＊告げられたのは、バビロンへの永遠の裁き

➡神の国(千年王国)、永遠の命の希望



復元されたバビロン

❸希望　沈むバビロン　51:63～64

そしてこの書物を読み終えたら、それに石を結び付けて、ユーフラテス川の中に投げ入れ*、こう言いなさい。『このように、バビロンは沈み、浮かび上がれない。わたしがもたらすわざわいを前にして。彼らは力尽きる。』」ここまでが、エレミヤのことばである。

＊究極的な裁きを示す。マタイ18:6

■バビロンには、すでに捕囚された民が。

➡バビロンの滅び、解放の希望!!





まとめと適用

災いの日の希望の約束

バビロンの遺跡

まとめ　バビロンの裁きの中にもある希望

❶バビロンのわざわいの日　…イスラエルを苦しめたバビロンに義なる神の公正な裁きが下る

❷バビロンと諸国の滅び　…バビロンは、聖絶のささげもの。諸国と共に滅ぼされる。

❸わざわいの日の希望　…主の約束がイスラエルを守る。主に信頼したすべての民も。

バビロンの裁きは、イスラエルの解放の希望

まとめ　大バビロンの裁き　大艱難時代の希望

❶大バビロンの災いの日　…再臨のメシアと天の軍勢の裁き。
千年王国にも破滅の痕跡が。

❷大バビロンと諸国の滅び　…大バビロンと全諸国が裁かれる。

❸終末の災いの日の希望　…残れるイスラエルは民族的回心へ。
大迫害の中の世界的リバイバル。

大バビロンの裁きは、すべての信仰者の終末的希望

適用　バビロンへの哀歌　信じる者には慰めに

- 捕囚民の長セラヤに託された、50～51章、バビロンへの哀歌。
- 70年の捕囚の間も、主に信頼する者には慰めと解放の希望が。
- 最悪の艱難期にあってすら、救いの希望は与えられ続ける。
  ましてや、滅びの前の産みの苦しみの時代にはなおさら。

私たちは、恵みの時代、希望の時代を生かされている!!

適用　与えられ、約束された恵みを確認しよう

「私たちは神とともに働く者として、あなたがたに勧めます。
神の恵みを無駄に受けないようにしてください。
神は言われます。『恵みの時に、わたしはあなたに答え、
救いの日に、あなたを助ける。』見よ、今は恵みの時、
今は救いの日です。 IIコリ6:1～2」

■私たちが生かされている今は、恵みの時、救いの日。
私たちを通して、救いにいたる人々が起こされていく。

主に助けられ、用いられることが、私たちの最大の恵み

適用　神のしもべとして、推薦されている私たち

私たちは、この務めがそしられないように、どんなことにおいても決してつまずきを与えず、むしろ、あらゆることにおいて、自分を**神のしもべ**として推薦しています。

すなわち、苦難にも苦悩にも困難にも、むち打ちにも入獄にも騒乱にも、疲れ果てた時も眠れない時も食べられない時も、大いなる忍耐を働かせて、また、純潔と知識、寛容と親切、聖霊と偽りのない愛、真理のことばと神の力により、また左右の手にある義の武器によって、また、ほめられたりそしられたり、悪評を受けたり好評を博したりすることによって、自分を**神のしもべ**として推薦しているのです。 IIコリ6:3～8

適用　主に与えられた、逆説的な恵み

「私たちは人をだます者のように見えても、**真実であり**、人に知られていないようでも、**よく知られており**、死にかけているようでも、見よ、**生きており**、懲らしめられているようでも、**殺されておらず**、悲しんでいるようでも、**いつも喜んでおり**、貧しいようでも、**多くの人を富ませ**、何も持っていないようでも、**すべてのものを持っています**。Ⅱコリ6:8～10」

■心に留めるべきは、自分と世の表面ではなく、
主が約束され、主の目に見えている、今あり、永遠にある真実。

すべては神の永遠の約束の上にある

主がすべてを新しくされる　　黙示録21:3〜5

「見よ、神の幕屋が人々とともにある。
神は人々とともに住み、人々は神の民となる。
神ご自身が彼らの神として、ともにおられる。
神は彼らの目から涙をことごとくぬぐい取ってくださる。
もはや死はなく、悲しみも、叫び声も、苦しみもない。
以前のものが過ぎ去ったからである。」
すると、御座に座っておられる方が言われた。
「見よ、わたしはすべてを新しくする。」また言われた。
「書き記せ。これらのことばは真実であり、信頼できる。」

★　わざわいの日の希望の約束　★

- バビロンへの災いの預言にこめられた、慰めと希望。
  闇の中の光。その究極である主イエス・キリストを仰ぎ見よう。

- 私の罪のため、十字架で死なれ、復活された、主イエスは、
  栄光の王として再臨され、悪を裁き、永遠の御国を建てられる。

- 主の約束が、苦難の中の私の慰め、私の力となるように、
  主にこの身を明け渡して、ただ主に満たされて行こう。

主を慕い求め、主を仰ぎ見続けていこう

「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください

私たちは、神の御子、主イエス・キリストが、

①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

②墓に葬られ、

③三日目に復活されたこと、を信じます。

主イエスは、栄光の王として来られ、永遠の御国を建てられます。

私たちに栄光の体を与えられ、永遠の御国の民としてくださいます。

どうか主の約束を、しもべである私たちの慰め、力としてください。

恵みの主を証しする者として、世に私たちを遣わしてください。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。　アーメン」